



ザ・カレッジオペラハウス 少年少女合唱団

2021年8月発足。小学1年生～高校3年生を対象とした合唱団。特別顧問 兼 指揮者の本山秀毅をはじめ、第一線で活躍する演奏家が指導にあたる。カリキュラムに大阪音楽大学現役学生女声コーラス「Coro CARINE」との合唱練習を取り入れていることも本団の特色。2023年度から小学校1年生～4年生を対象とした「キッズコーラスPa・Pa・Pa」が合唱団の仲間に加わり、コンサートでの共演や合同練習も行っている。これまでに大阪市主催、咲くやこの花コレクション「歌物語への誘い」や、ザ・シンフォニーホールで開催した「第65回大阪音楽大学定期演奏会」の『カルミナ・ブラーナ』に児童合唱として出演。そのほかにも音楽院主催「0歳からのファミリーコンサート」や「familiar×NIFREL」コラボレーションイベントにてニフレル館内ワンダーモーメントにて演奏、ザ・リッツ・カールトン大阪での演奏など、活動の幅を広げている。一緒に合唱したい仲間を随時募集中！！



ザ・カレッジオペラハウス ジュニア・オーケストラ

2020年5月発足。小学1年生～高校3年生を対象としたオーケストラ。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者の牧村邦彦、コンサートマスター赤松由夏をはじめ現役の楽団員が指導にあたる。現在は弦楽器に特化しており、合奏練習を月2回、セクション練習を月1回行っている。ザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団や打楽器アンサンブルとの共演など、多くの人との演奏を通じて、多様な楽曲演奏の経験を積んでいる。

2024年度 新規団員募集中!

見学・体験
申込へGO!



本山 秀毅

少年少女合唱団特別顧問

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。フランクフルト音楽大学合唱指揮科卒業。帰国後はバッハを主とする宗教音楽を中心に演奏活動続ける。「バッハアカデミー関西」を設立し、「教会暦によるカンタータシリーズ」によりバッハの声楽作品の全曲演奏に取り組んでいる。1995年にはオレゴンバッハフェスティバルに、

2002年5月にはライブツィヒバッハフェスティバルに招聘され、バッハのミサ曲などを演奏し好評を博した。また一般・大学合唱団の客演指揮者、合唱指導法などの講習会の講師、全日本合唱コンクールをはじめとするコンクールの審査員として合唱音楽の普及にも努めている。同時に関西におけるプロ合唱団とオペラ作品の合唱指揮にも活躍している。第15回藤堂音楽褒賞、2001年京都市芸術新人賞受賞。指揮をヘルムート・リリング、ヴォルフガング・シェーファー・ウベ・グロノスタイの各氏に師事。現在、大阪音楽大学学長・教授、大阪音楽大学付属音楽院講師、びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者。京都バッハ合唱団主宰。



牧村 邦彦

ジュニア・オーケストラ指揮

大阪芸術大学演奏学科卒業後、ウィーン国立音楽大学にてO・スイトナー氏に師事。帰国後大阪シンフォニカー(現大阪交響楽団)指揮者として13年間在籍。他に関西フィルや、京都市響、広島響、大阪市音楽院とも共演を重ねた。オペラの世界に魅了され、再び新国立劇場公演の音楽スタッフから出直し、活動の場を全国各地に広げ、その中で指揮者星出豊氏の薫陶を受けた。

原嘉壽子、松下功、池辺晋一郎、景山伸夫氏ら邦人作曲家の新作オペラの初演など意欲的な活動時期を経て、現在オペラレパートリーは80作品に近づく。『アイーダ』『オテロ』『トスカ』『トゥーランドット』等の大規模なオペラから室内オペラまで、全国各地のオペラ団体の公演に招かれ、各団体の権威ある受賞にも貢献。昨年も堺シティオペラ公演が大阪文化祭賞を、みづなオペラ公演が文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞した。オペラを通して札幌響、神奈川フィル、セントラル愛知響、日本センチュリー響、広島響、瀬戸フィル、九州響、琉球フィル、などと共演している。オペラの普及に深く尽力し、子供のためのオペラ教室や、自身のお話で進めるレクチャーコンサートが好評をよんでいる。平成22年度尼崎市民芸術奨励賞、平成24年度は川西市民文化賞受賞。現在、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者、大阪芸術大学客員教授、大阪音楽大学大学院講師、みづなオペラ音楽監督。



松尾 卓郎

少年少女合唱団指揮

京都市立芸術大学音楽学部卒業。在学中より合唱指揮者として各種演奏会やコンクールに出演するなど、合唱音楽の分野で意欲的に活動している。真摯で温厚な音楽創りとの的確で懇切丁寧な指導には定評があり、少年少女・おかあさん一般合唱団の指揮、コンクール審査員のほか、合唱講習会の講師、中・高等学校や大学合唱団

の技術指導にもあたっている。大阪センチュリー(現:日本センチュリー)交響楽団創立20周年記念特別演奏会において、オネゲル作曲「火刑台上のジャンヌ・ダルク」の児童合唱指揮を務める。また「岸和田市少年少女合唱団ドイツ・スペイン公演」をはじめ、イタリア・中国・ハンガリーでの海外公演を成功へと導く。カンテマス国際合唱指揮者マスターコース、セグド(ハンガリー)国際合唱セミナー修了。サボー・デーネシュ氏、ロズゴニ・エヴァ女史より指導を受ける。合唱指揮を本山秀毅氏に師事。現在、大阪音楽大学講師、サントリー1万人の第九合唱指導者、京都バッハ合唱団所属。



赤松 由夏

ジュニア・オーケストラ指導統括

大阪音楽大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。東京読売新人演奏会や大阪音楽大学卒業演奏会など、学内外のコンサートに出演。ブラムス、サン・サーンス、モーツァルトの協奏曲をザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。オーボエの巨匠インゴ・ゴリツキー氏とJ.S.バッハの「オーボエとヴァイオリンの為に協奏曲」を共演。

1999年渡英、J・ロシュタイン氏の下で研鑽を積む。これまでに、長谷川孝一、東儀幸、宗倫匠の各氏に師事。西宮音楽協会会員。関西室内楽協会会員。伊丹シティフィル弦楽器トレーナー。弦楽合奏団「Musical148」メンバー。2002年よりザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コンサート・マスターを務め、2019年より関西フィルハーモニー管弦楽団特別客演コンサート・マスターを兼任。大阪音楽大学特任准教授。



Coro CARINE

少年少女合唱団 協力コーラス

ザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団の協力コーラスとして誕生した大阪音楽大学声楽専攻生による女声コーラス。日頃はクラシックのソロ歌唱を学ぶ現役音大生が豊かなハーモニーを聴かせる。音楽院のYouTube「音届(おとどけ)チャンネル」にも度々出演している。



ザ・カレッジ・オペラハウス 管弦楽団

ジュニア・オーケストラ指導

1988年発足。以来、主催事業や劇場プロデュースのオペラ公演へ出演。多彩な演奏活動が認められ、第6回・第22回三菱UFJ信託音楽賞、第20回音楽クリティック・クラブ賞、2005年度・2011年度文化庁芸術祭大賞などを受賞。その他、63回を数える定期演奏会などのコンサートや、

在韓オーケストラとの合同演奏会、文化庁による舞台芸術等総合支援事業、モデルオーケストラとして小澤征爾・湯浅勇治らが指導する音楽セミナーなどへ出演。活動は多岐に亘る。名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・コンスン、正指揮者に牧村邦彦を擁する。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

少年少女合唱団 & キッズコーラス Pa・Pa・Pa 指導陣



石橋 栄実

少年少女合唱団指導統括

1998年ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」に招聘出演して以来、新国立劇場をはじめとする、多数のオペラの舞台上で活躍している。全国のオーケストラより宗教曲や交響曲のソリストとして招かれる他、NHKニューイヤーパーティコンサート、Eテレ「クラシック音楽館」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」などTV出演も多い。久石譲ジルベスターコンサート出演。大阪音楽大学教授、付属音楽院長、大阪府立夕陽丘高校音楽科講師。



勝山 幸菜



北野 智子



権 優歩



渋谷 菜南



村岡 瞳